

# 東京桑野会会報

●2011年4月1日発行●発行・編集人 古川清●発行所 東京桑野会事務局 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-8 YKB新宿御苑804



旧福島尋常中学校本館  
画：渡邊紘一（73期）

東北地方太平洋沖地震で被災されました皆様へ

三月十一日に発生しました「東北地方太平洋沖地震」におきまして、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し深くお悔やみ申し上げます。

東京桑野会では本東京桑野会会報の発行準備を進め既に内容を確定しておりましたことから、本号をその形で発行させて頂きますこと、ご理解をお願い申し上げます。

改めて、被災された皆様が一日も早く普通の生活に戻ることが出来ますよう、心よりお祈り申し上げます。

東京桑野会



## No.33



### ご挨拶

東京桑野会会長  
古川 清

- ①桑野の母校に学んだという共通の経験に結ばれた同窓の親睦の会であること
- ②会員はみんな仲良く相親しみ楽しい会であること
- ③何らかの意味で会員の頼りになるような面もある会であること

安積の草創期には人材が輩出した。新城新蔵、高山樗牛、朝河貫一、小西重直などなど。何故だろうか。此の程出版された「朝河貫一と四人の恩師達」で良く解った。福島県は大変な教育県であった。もともと明治19年の法律で中学校は各県に一つと決められ、エリート養成のための高等教育機関としての地位が確定した。県知事達は競って自分に任せられた県の教育水準の向上に情熱を燃やし、中学校の校長や教師については全国的規模で有能な人材をスカウトして内容の充実を計った。四代目校長の能勢榮は早くも明治3年に米国に渡ってオレゴン州の大学を卒業、長野県を教育県に仕立て上げ、日本三大教育家の一人と評価された逸材で、赤司県令が無理矢理スカウトして福島尋常中

学校の校長に迎え教育方針の基礎固めをさせている。その後任の和田豊第五代校長は英語教育の重要性を認識、文部省に掛け合っってハリハックスの招聘に成功している。また当時福島市や川俣町には英語塾があり、朝河貫一も中学に入る前、川俣町の塾で中学校を退職した蒲生義一から英語を学んでいる。福島県は養蚕県であったので、生糸の取引で欧米人と渡り合うことが多く英語の知識を必要としたらしい。ともあれこの時期は教える方も学ぶ方も必死であった。このエネルギーが多く有為の人材を育てたことは間違いない。日本人全体の劣化が指摘されている今日吾々はもう一度明治の先人達に思いを馳せ何物かを学び取るべきではあるまいか。

# 東京桑野会定期総会開催のお知らせ

東京桑野会のメインイベントである、定期総会と懇親会を次の通り開催いたします。多数の同窓会員の皆様に参加されますようにご案内申し上げます。

- 期 日 2011年（平成23年）6月3日（金）
- 時 間 午後5時 — 受付開始  
午後6時 — 総会  
午後6時30分 — 懇親会
- 議 題 1. 会務報告の件  
2. 予算決算の件  
3. 役員改選の件  
4. その他
- 場 所 目白 椿山荘  
東京都文京区関口2-10-8  
(TEL 03-3943-1111)  
JR目白駅、地下鉄有楽町線江戸川橋駅下車
- 会 費 懇親会費 8,000円  
(学生は年度会費込み 3,000円)  
2011年度東京桑野会会費 2,000円

東京桑野会は会員皆様の年度会費によって運営されています。

総会当日にご出席出来ない会員の皆様には、同封の振込用紙で年度会費2,000円のお振込みのご協力をお願い申し上げます。

◇準備の都合もごございますので、出欠の返事は同封の葉書で5月20日（金）迄にご返送下さいますようお願い申し上げます。

事務処理の都合上葉書には必ず住所、氏名、期を記入して下さい。

◇また、連絡もれもあるかと思われますので、先輩、同期、後輩もお誘い合わせのうえ、多数の出席をお願いいたします。

◇昨年度は、2010年6月1日に開催され、132名の参加があり盛況でした。

# 母校便り

☆母校は創立127周年を迎えました。二ヶ塔卒業期のOBには信じられないようなことが母校でも起きています。修学旅行（2年生）は、「韓国」です。日本との歴史的経緯から、「近くて遠い国」と言われていた世代にとって、隔世の感がありますね。肌で感じる韓国は、安積の生徒達にとって、どのようなものだったでしょう。アンケートによると、大変に良い機会となったことが伺えました。

☆部活動では、後輩たちの活躍が今年も光りました。男子ハンドボール部が県大会で優勝！、沖縄インターハイに出場しました。テニス男子では大槻勇斗君（1年）が県大会で優勝し、インターハイに出場しました。文化部では、弦楽合奏部、写真部、将棋部、囲碁同好会が全国大会出場、NHK全国放送コンテストには放送部が出場しました。そしてなんと言っても合唱部の、第六十三回全日本合唱コンクール全国大会高等学校部門で金賞並びに文部科学大臣賞を受賞がスゴイ！。

☆母校の後輩の皆さん（現役生）の大きな目標の一つは、大学進学です。母校の進路情報によると、10月の時点で3年生（124期）は、平日4時間22分、休日7時間39分が家庭学習時間の平均だそうです。昨年より増えています。

## 人が、季節が、集います。

### 味

お食事

伝統の味に季節の彩りそえて

- 料亭・錦水内・れすとらん花車
- 石焼会席処・木春堂
- そば処・無茶庵
- フランス料理・カメリア

### 宴

ご宴会

華やかな集いに17の大小宴会場

- 2,000名様までのパーティー、国際会議、ファッションショーなどのお集りに。
- 最新機能の音響装置。

### 寿

ご婚礼

佳き日に永遠の幸せを誓う

- 800名様までの日本料理、フランス料理、仏蘭西会席着席ご披露宴。
- 庭園での記念撮影も随時お振りいただけます。
- チャペル・神殿でのご挙式も承ります。



CHINZAN-SO  
**椿山荘**  
03-3943-1111

## 会員消息

逝去された方々のご冥福をお祈りいたします。

金森 徹雄氏(43期)(平成22年3月11日)  
藤田 幸寿氏(48期)(平成21年11月7日)  
柳沼 八郎氏(50期)(平成22年9月8日)  
撞井 保夫氏(51期)(平成23年2月9日)  
君島 誠氏(54期)(平成21年6月11日)  
斎藤 准二氏(54期)(平成21年7月18日)  
渡辺 勝夫氏(55期)(平成21年12月6日)  
矢部 重夫氏(57期)(平成21年11月19日)

黒澤 吉蔵氏(58期)(平成21年2月22日)  
込山 三男氏(59・60期)(平成21年)  
阿部 健雄氏(61期)(平成21年4月9日)  
先崎 昇氏(64期)(平成21年7月1日)  
阿部 健蔵氏(66期)(平成21年6月2日)  
佐藤 晴時氏(66期)(平成21年3月14日)  
三輪 良充氏(71期)(平成17年)  
渡辺 一夫氏(78期)(平成22年1月31日)  
常松 俊秀氏(78期)(平成22年9月4日)  
猪狩 俊郎氏(80期)(平成22年8月27日)  
立花 敏弘氏(91期)(平成22年3月18日)  
蛇石 直氏(114期)(平成22年5月4日)  
(順に、氏名、期、逝去された日)

るそう、頑張れ！。1年生(126期生)も昨年比で+2分、2年生は、あらあら、-5分となっているそうです。自分の人生だ、おもいっきりやれ！。  
☆硬式野球の「安積・安積黎明定期戦」の4回目が、2010年5月29日に聖地・開成山球場で行われました。リニューアルされた開成山球場での戦いは、もちろん安積の勝利でした(9-2)。見に行きたかった…。



### ご挨拶

安積桑野会会長  
山口 勇 (69期)

東京桑野会の皆様お変わりありませんか、いつも母校、桑野会に対し御協力ありがとうございます。

まずは、母校の活躍からお知らせいたします。母校安積高校は創立127年目、男女共学始まって11年目を迎えることになりました。「バンカラ」一筋、むさ苦しい雰囲気も女子生徒の入学によって変わってきました。何と、全日本合唱コンクール全国大会高等学校部門で最優秀賞に輝き、文部科学大臣賞を獲得したのです。楽都郡山の異名まかり通るように、全国の合唱祭で常に第一人者的存在の安積黎明高校とともに安積高校もその名を連ねたのです。文武両道という言葉がよく使われますが、スポーツに於いても、硬式テニスシングルスで県大会を制し全国大会に出場した生徒は、未だ一年生で今後益々期待出来ます。更にチーム

スポーツでもハンドボール部が活躍しました。高校時代からハンドボール部に関わってきた級友の話ですが昨年7月待ちに待っていたOB・OG会が結成されたのです。部が創部され63年、45年振り6回目の全国大会出場を記念してのものです。今年創部6年の女子部も初の県3位となり男子の沖縄インターハイ出場に華を添えてくれました。関係者は皆大喜びでした。沖縄での支援体制のことで75期の上野光三氏(元ハンドボール部員)と連絡がとれ、快諾を得て宿舎の斡旋などサポートして頂きました。更に上野氏には9月11日の安積桑野会での講師をして頂きました。大変にお世話になりました。ここに同窓生の絆と素晴らしさが、脈々と続いていることに感激いたしました。

話が変わりますが、歴代の会長が言及してきました「安積歴史博物館」についてです。母校の国指定重要文化財も木造建築の宿命で、建物の傷みが酷くなって、その都度修理費を計上して補修することになっていますが2、3年後には外壁塗装が予定されておりまして。安積歴史博物館の維持管理のために更に特段のご支援とご協力をお願い

申し上げます。

近年各地で地震や火山噴火のニュースが聞かれますが、福島県は岩代の国ですから昔から地震のないところと考えられています。住むのに安全な地、郡山市は福島県の中心にあり、ゆくゆくは大郡山70万人～100万人規模の政令指定都市へ発展して欲しいものです。

五十六十は花なら蕾  
七十八十は働きざかり  
九十になって迎えに来たら  
百まで待てと追い返せ

という言葉もありますが、高齢化社会は確実にやってきます。3人に1人が後期高齢者になるのも間近でしょうが、東京桑野会の皆様も健康に留意されてご活躍されますよう祈念してご挨拶といたします。さらに、安積桑野会のホームページが再稼働いたしました。ぜひご覧下さい。

安積桑野会役員一同、母校、同窓会、歴史博物館の発展のため、皆様と共にガンバッテ参りますのでより一層のご協力ご支援を宜しくお願い致します。東京桑野会の益々の御隆盛を祈念しあいさつと致します。



## 志を高く掲げて

安積高等学校長  
鈴木 仁

平成二十二年度の学校運営ビジョンのローガンを「高い志を育み、叶える学校を目指して」としました。開拓者精神のもと、高い志をもち、文武両道を貫きながら、その実現に向けて努力を続ける生徒の育成に努めるため、生徒教職員が一丸となって、生徒一人一人の高い志を育み、叶える学校を目指すとの強い思いからであります。

八月の全国インターハイ沖縄大会に、ハンドボール男子団体、硬式テニス男子シングルスが出場しました。全国高等学校総合文化祭宮崎大会には、弦楽合奏部、写真部、将棋部、囲碁同好会が出場、NHK全国放送コンテストには放送部が出場、全国高校囲碁選手権大会には女子団体が出場しました。また、東北高校駅伝大会に陸上部男女がそろって出場を果たすなど、県大会や東北大会において、本校の各部の活躍が大いに光った年でありました。

そして、今年度最も輝いたのが、合唱部でした。十月三十日に兵庫県立

芸術文化センターで開催された「第六十三回全日本合唱コンクール全国大会」高等学校部門B（編制三十三人以上）で安積高校混声合唱団が金賞並びに文部科学大臣賞を受賞しました。合唱部は創部六十年、全国大会に四回出場し、金賞は平成十四年に続いて二度目の受賞ですが、「日本一」となる文部科学大臣賞受賞は創部以来初めてのことです。合唱部員の皆さん、保護者の皆さん、合唱部のOBや関係者の皆さん、誠におめでとうございました。

男女共学十年目の節目の年に、本校混声合唱団が「日本一」に輝いたことは快挙であり、大きな榮譽として、また誇りとして安積高校の歴史に刻まれることとなります。

昨年度は、県大会でまさかの銀賞、リベンジを誓っての今年の快挙、顧問の鈴木和明先生の喜びもひとしおのものと推察し感謝を申し上げる次第です。

ここで、百二十七年の本校の歴史での「日本一」を振り返ってみますと、陸上競技部の昭和三十五年インターハイ走巾跳で星二郎君が、平成十七年インターハイと国体やり投げで山田啓太君が優勝しています。また、昭和四十八年に宗像利文君、本間昇君、安中利夫君の三人が全国高校将棋選手権で団体優勝並びに文部大臣杯を獲得した記録が残っています。懐かし

く、思い起こされた方はたくさん居られることでしょう。本校の文武両道の精神は、後輩に脈々と受け継がれていると確信しているところです。

平成二十三年度は、全国高等学校総合文化祭福島大会が八月三日から七日まで開催され、全国からおよそ二万人の高校生が福島県に集います。総合開会式は郡山市民文化センターで開催されます。この大会の生徒実行委員長は、本校の生徒会長であり、様々な部門で本校生の活躍が期待されています。

「志を高く、より高く掲げよ。生徒一人一人の高い志を叶えよう。」と、いま生徒教職員が一丸となって取り組んでおります。百二十四期生の頑張りが、進路目標達成という形で、もうすぐ皆様に御報告できると思っています。

最後に、東京桑野会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、ご挨拶といたします。

# 小橋クリニック

院長 小橋主税 (86期)

福島県須賀川市仁井田大谷地172-3  
TEL 0248-72-1555

## 安積高等学校合唱部の 日本一に寄せて

荒井一成 (85期)

第63回全日本合唱コンクール全国大会(全日本合唱連盟主催)が平成22年10月30日、兵庫県西宮市にある県立芸術文化センターで開催され高校Bグループ(33人以上)で金賞並びに文部科学大臣賞を受賞した。鈴木和明先生の指揮の下、課題曲ピエール・ヴァレット作曲の「おのお偉大なる神秘よ」、自由曲ウイティカ作曲「この最も素晴らしい日に、わたしは神に感謝します」を見事な演奏を披露した。後日DVDで拝聴したが、課題曲の冒頭の数小節で深い感動の世界に聴衆を導くものであった。

近年、安積の合唱は繊細で上品である。私たちの時代の郡司先生の頃は、清水修や多田武彦の作品が主流で大きな響きと厚重な和音の男声合唱であった。人数も他校ほど多くなく福島や会津、磐城と比べると見おとりもし音程も悪く聴きおとりもした。次に着任した安積では珍しい女性の音楽の先生である佐々木先生の頃は、先生の努力もあって音程が崩れること無く東北大会常連校になっていった。次に着任したのは福島高校から転入され

た高麗先生である。勤務した高校はすべて全国大会に出場し名演奏を聴かせていた指揮者であり、着任した年に安積高校合唱部を始めて全国大会に出場させた。この時代にはカウンターテノールを用いたルネッサンスの合唱曲(エレミア哀歌等)を定着させ、レパートリーの拡大と合唱レベルの向上が図られた。次に着任した五十嵐良江先生は質の高い音楽を求め、一般団体でも難曲とされる音楽を紹介し県大会の金賞常連校になった。男女共学で男声・女声・混声の3つの合唱活動を行う今日の安積の体制を構築した。そして、現在の鈴木和明先生の時代となった。昨年はインフルエンザで出場できない部員も多く県大会止まりであったことから、今年度の部員は健康管理と共に昨年度の雪辱を果たすかのように全員の気持ちが一になって活動できたものと思われた。作曲家の湯浅譲二先生が高校時代に創られた安積高校の合唱部は、このように勤務された多くの先生方によって育てられてきたのである。

一方、部員たちもその保護者たちが合唱で全国的に有名な某女子校出身であったり、中学校時代に全国大会出場を経験し、東京から来た高名な講師による合唱指導を経験するなどして時代は大きく変化している。優れた指

揮者の指導ではその音楽はすぐに変化し今までに経験できなかった感動を与えてくれるものである。そういった経験の積み重ねで育った現在の安積高校合唱部員が今後益々活躍することを切に願っている。

(合唱部OBOG会会長)



安積高校合唱部日本一

## ハンドボール部の インターハイ出場に よせて

伊藤康祐 (119期)

2010年夏、安積高校男子ハンドボール部はインターハイ出場を果たしました。インターハイ出場は、数多くのハンドボール部OBが目標に掲げながらも叶えることのできなかつた大きな壁です。この偉業の達成は大変喜ばしいものでした。

引退して数年の年月が経ちました

そば・うどん・酒処

# 鞍手茶屋

霞ヶ関店 〒100-6001 東京都千代田区霞ヶ関3-2-5 霞ヶ関ビル1F ☎03-3581-7066  
 大手町店 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービルB1 ☎03-3213-2385  
 中山峠店 〒963-1304 福島県郡山市熱海町国道49号線中山峠 ☎024-984-3774 〈店主〉上野富衛(78期)

霞ヶ関ビル店  
2009年4月  
リニューアルOPEN!

東京で福島のけんちんもちを!!  
— 昼はそば、夜は酒と肴 —

が、かつて私もハンドボール部に所属し、インターハイ出場を目標に活動していました。ただひたすらがむしゃらに、暑い日も寒い日も毎日のように練習していたことは、今となっては懐かしく思い出されます。室内競技なのになぜか外で練習したり、部活に打ち込みすぎて勉強がおろそかになり、成績不振で先生に怒られたりしたことも、今となってはいい思い出の一つです。しかし、努力もむなしく、私は最後の試合に出場することができませんでした。県南地区の大会で負傷したためです。右手首の骨折でした。骨折してからインターハイ予選までわずかな時間しかなく、完治させるには時間が足りません。その時、私にできることは仲間が予選を勝ち抜いてくれることを信じることだけでした。インター

ハイまでになら怪我を完治させて復帰することができると考えたのです。しかし、予選はまさかの1回戦負け。予想外の早さで引退を迎えました。その時は試合に負けた事実と何もできなかった自分のふがいなさに対して非常に悔しく思いました。また、一緒に練習に励んできた仲間や当時顧問だった遠藤均先生には申し訳なく思いました。

大変悔いの残る私のような例は珍しいとは思いますが、部活動に励んだ方々はみんなインターハイを目標に頑張ってきたと思います。そのような思いや経験があるからこそ、今年の男子ハンドボール部のインターハイ出場はOBの方々にも大変大きな喜びとなったのでしょうか。昨年、これをきっかけとして、インターハイ出場チーム

を指導した最上大先生を中心に様々な方々のお力があって、ハンドボール部のOB・OG会である紫送会が発足しました。私は、紫送会ができたことは安積高校ハンドボール部のますますの活性化に繋がると思っていますし、むしろ活性化していかなければならないと思います。男子は再びインターハイに出場してより良い成績を残せるように、女子はインターハイ出場を果たせるように、OBが中心となって後押ししていければと私は考えています。そして、それが安積高校のより一層の発展に繋がっていくことを期待しています。

(安積高校 ハンドボール部 119期 主将、明治大学大学院)

## 腰痛、 その不思議なるもの

菊地臣一 (78期)

私は、整形外科医として40年間、脊椎・脊髄外科を専門として働いてきました。特に、腰痛は自分のライフワークの一つです。同期(78期)生の勧めで、腰痛についての最近の話題を紹介することになりました。

約20年前から腰痛の考え方に大きな変化が起きました。その切っ掛けは、医療費の高騰、腰痛を訴える人が増えたこと、高齢者の腰痛患者(特に女性)が激増したこと、EBM(evidence-based medicine、根拠のある医療)という概念・手法の導入、そして個人、産業、あるいは国家への経済を含めた様々な負担が増えたことなどです。この為、欧米では国家的プロジェクトと

して腰痛の研究が強力に進められるようになってきました。

この結果、驚くべきことに、近年、腰痛にかかる医療費は増加の一方を辿り、新しい診断や治療の技術が導入されているにもかかわらず、第二次世界大戦後から現在に至るまで、腰痛の治療成績が明らかに向上したとは言えないことが明らかになったのです。しかも、腰痛の約85%は、いわゆる“腰痛症”という診断なのです。若い人や壮年の人に多い椎間板ヘルニア、高齢者に多い腰部脊柱管狭窄(様々な病気が含まれています)、あるいは転移性脊椎腫瘍(癌の転移)や脊椎の骨折(主に女性の骨粗鬆症に伴う椎体骨折)といった明確な診断が見つかるのは2割にも満たないということが現実です。

腰痛、特に慢性の腰痛の捉え方にも劇的な変化が起きました。今まで

は、“年を取れば腰が変形して痛くなる”ということが当たり前のように受け入れられてきました。したがって、腰痛は高齢者の症状と思われていたのです。しかし、近年の研究で、腰が痛い人は20歳台以降、男女ともに各年代で、70歳女性の高頻度を除いては、30%もいるということが分かってきました。これでは、「腰が変形したから痛い」という話では説明が付きません。

長引く腰痛には、腰自体の問題の他に、患者さんの心、過去の体験、家族、職場、そして地域などの問題が、私のような専門家が従来認識していた以上に早くから、深く関わっていたことが明らかになったのです。

もう一つ、治療成績や患者さんの満足度は、医療機関の受付、事務、技師、看護師、医師など、医療従事者の患者さんへの接し方に大きく影響されて

## 日本と韓国の 架け橋になって

和田正哉 (77期)

あれは30年以上前の、昭和53年1月の下旬の事であった。その前年に東芝の関連会社を辞めて、ある会社の営業部長として働いていた頃、その会社の社長が、韓国で急に脳溢血で倒れたとの知らせを受けて、社長の奥さんと経理部長と私の三人で韓国に飛んだ。脳手術を行ったが、2月の中旬に亡くなってしまった。その当時の韓国は、朴大統領の時代で、まだ戒厳令が敷かれていて、夜の12時以降は外出禁止令で、誰もが外出出来なかった。韓国へ行く前に、日本のある人により、韓国でも有名な教授だからと、金基俊(キム・キ・ジュン)教授を紹介して

いることが分かってきたのです。科学が明らかにしたのは、皮肉にも、医療行為には「ぬくもり」が重要だということなのです。

ストレスが、病気や薬の効果にも影響を与えていることも分かってきました。例えば、工作中的の精神的なストレスは腰痛を痛める危険がある、人員削減は腰痛や早期死亡のリスクを上昇させる、あるいは経済危機は、痛み、病気、早期死亡に影響を与えるといったことが分かっています。「健全なる精神は健全なる身体に宿る」から、今や「健全なる身体は健全なる精神に宿る(培われる)」と変える必要があります。先生に診てもらったら治ったようだとか“病院に来たら治ってしまった”という話を患者さんからよく聞きますが、これは気のせいではなく、本当のことだったのです。

心理的な効用(プラセボ効果)の大きさも以前には充分認識されていなかったことです。医療行為を行う場合、心理的効用は無視できず、痛みの治療では特に重要なことが分かってきました。また、患者さんの医療への期待感、医師や医療機関への信頼感が治療効果を向上させる可能性があることも分かってきたのです。「痛みがないと思うと痛みが軽くなる」というのは本当だったのです。このことは、プラセボでも脳の痛みをとる働きをする部位の活動が活発になることで証明されています。

只、分からないことの方が多いの事実です。代表的な謎は、腰の痛みには苦悩や苦痛を伴うのに、関節の痛みには伴わないのは何故かということです。個人的な悩みや余りに大きな精神的負担は腰痛を引き起こすのに、膝の悪い高齢者が痛みや生活上の不快感を訴えることはあっても、苦悩や苦痛は訴えません。「腰痛と関節の痛

みは違う」ということはわかっていません。しかし、何故違うのかはまだ分かっていないのです。私は、二足歩行になって大きな負担が腰に掛かるようになったことと、当時の人類の祖先の寿命が短かったことが理由ではないかと考えています。

“今”の医療では、「どんな治療をするか」ではなくて、「誰を治療するか」が大切であることが分かります。つまり、「病気を治す」のではなく「病人を見る」ということです。もう一つ、患者さんと医療提供側が、一緒に治療するという考え方も大事です。

まとめると、腰痛に限らず、医療では患者さんは、何でも話せる、話を聞いてくれる医師や医療機関を持つことが一生の宝と言えます。そして、患者さん自身が“自分が治す”、“必ず治る”という強い意志を持つことが治療をするうえでは一番大切なのです。

(公立大学法人福島県立医科大学 理



久米正雄の句碑(開成山公園内)

画: 渡邊紘一(73期)

頂いた。金教授は、韓国と米国との第1回の交換教授として、米国のハーバード大学で8年間教鞭をとられて、前年に韓国に戻ったばかりであった。その当時、大学教授（法学博士）と朴大統領の政治顧問（これは、後で知ったことだが）をやられていて、非常に多忙であったが、忙しい中、夜遅くや朝早くに、我々の滞在していたホテルや、社長が入院していた病院に来て、ほんとうに身内にしてくれる如く、こまごまと気を使って、親切にして頂いた。ある時、病院で遅くなり、夜の12時を過ぎてしまい困っていると、金教授が大丈夫ですと言って自分のフォルクスワーゲン（その当時韓国には、水色のフォルクスワーゲンは、金教授ともう1台しか無いと聞いていた）で、私と経理部長を、戒厳令下のソウル市内を、車が1台も走っていない静寂の中（但し兵隊が自動小銃を持ってあっちこっちに立っていた）、一度も車が止められることなくホテルまで送ってくれた。私と経理部長は、何かあったらどうしようと内心ヒヤヒヤであった事を昨日の如く鮮明に記憶している。

昭和50年代、韓国は何でも日本のマネ（参考に）をしていた。昭和52～53年頃に、韓国はまだ特許法が整備されていなかったため、金教授より特許の資料があれば送ってほしいと言われたので、日本に帰国して早速、日本の特許法の基である、「産業別基準法」の8～9割と日本の特許法と関連資料、それに米国の特許法及びヨーロッパの主要国の特許法と関連資料等を小包10個位にして送って差し上げた。東芝時代に培われた特許の知識が多少とも役に立ったと思っている。金教授は、その資料を基に足りない分を韓国政府より日本の特許庁に係員を派遣して、一年後私が韓国に行っ

て金教授にお会いした時に、和田さんが送ってくれた特許法の資料を参考にして、やっと韓国の特許法が出来ましたと非常に感謝された。（その数年後、韓国も国際特許法の参加国になった。）その後、金教授は、留学生や、政府関係の方を多数紹介してよこした。（残念ながら、金教授は、82歳で一昨年亡くなった）その中の一人に、許南整（ホウ・ナム・チョン）氏がいる。彼は国費で早稲田大学の大学院（修士課程、その後米国のカリフォルニア大学の博士号を取得した）に入学したばかりで、金教授の紹介状を持って私の所に来たので、多少ではあるが、彼の学生時代面倒をみたが、その恩を忘れず、今でも家族ぐるみのつきあいをしている。許氏は、早稲田大学を卒業して韓国へ戻り（財韓日経済協会に入り20数年かけて専務理事になり、今も元気に活躍しておられる。（昨年、専務理事は退いた）今から20年前に、私のちょっとした行動が、その後の韓国と日本の交流につながり、日本と韓国の架け橋（おこがましいが）になって、少しは、お役に立てたかなあとと思う今日この頃である。

（榎開成プランニング 代表取締役）

## 遺言書雑感

上石利男（80期）

弁護士の仕事柄、遺言書にかかわる機会が多い。経済紙誌の主旨は「争族」対策から、税務会計上は税務対策への関心からのものであるが、人間の多様性はそれにとどまらない。命の次に大事とされる財産処分に仮託して様々な想いをめぐらし発信することで、この世に生きた自己を再確認する。人が最終章で語る言葉には「その言や佳し」と思わせるもの、しばしばである。

A氏は今となっては身寄りがなく天涯孤独の団地住まい。かつては優秀な技術力で辣腕を振るった実績もあるが、中学生のときから身につけた親譲りの株式売買で安定した晩年。妻とは離婚し子供もいない。いわゆる相続人が存在しないため、老後に備えた幾ばくかの預貯金と株は将来宙に浮いてしまうことになりかねない。そのことを危惧したA氏は（亡くなる1年前）全文自筆で遺言書を残した。前段で「自分の死後は全財産を元配偶者Bにゆずります」とした後「もしもBが受け取れない事情（死亡等）」があるときは、動物愛護協会へ全財産をゆずります（可哀な野良猫のために使ってください）、その場合まず私の住んでいる団地を中心に猫たちを助けてやってください」。

蓋しA氏は、自分の侘びしく孤独な境遇に重ね合わせ、野良猫に対して特別の思いを寄せていたものであろう。後日談であるが、A氏亡き後Bさんが無事に遺贈を受けてくれたため、遺言執行者としては野良猫たちへ遺贈しないで済んだ。

C子は身体に障害があり生涯独身を通したが、体力が衰えた晩年は妹D家族に手厚く面倒をみてもらうことができた。亡くなる3年前、介護老人保健施設で公証人に対し遺言を口述し公正証書遺言を作成してもらった。一切の財産を妹Dに相続させるとした後、遺言書にはその心境が赤裸々に記述されてあった。「私がこの遺言を作成することにしたのは、妹Dに何かにつけ気を遣ってもらい大変に世話になったので、その感謝の気持ちからです。心から感謝しています。お陰様で老後を安心して元気に過ごすことができました。本当にどうもありがとうございました。」

かくも明確、かくも率直な心情を吐



露した遺言書を目の当たりにしてな  
お、承服できないとして争う人がで  
るのも人間社会。ここまで云われて  
しまつては却って立つ瀬がないとい  
うことか、妹Dを除く相続人として  
は心境複雑なものがあったかも知  
れない。  
(弁護士)

「仕事と子育ての両立」  
～働きやすい環境は自ら創ろう～

佐久間裕子  
安積女子高校31回(昭和54年)卒

私は、大学卒業後外資系のIT企業  
に入社し、現在東証一部企業の情報シ  
ステム部長をしている。娘は既に就  
職(一応配偶者が一人)。ワーキング  
マザーは今では当たり前だが、私が  
就職したのは男女雇用均等法の施行前、

両立は大変とされた時代だった。しか  
し今も昔も両立の難しさは同じだ  
と思う。両立に一番大切なこと、それは、  
自分が働きやすい環境を日々自らつ  
くるということである。それは国や会  
社の制度で整備されるものではない  
のである。

外資系は日本企業より男女差はな  
かったが制度が整っていたわけでは  
ない。男女差がない分評価も同じで、  
優遇されていたわけではない。それ  
でもここまで続けられたのは、上司や  
同僚の「家庭は大切」という理解が  
あり個別のフォローがあったおかげ  
である。でもそれに甘えて過ごして  
はいけない。育児休暇などないので、  
子供の発熱で年休を取っても自分  
が熱を出しても休むことはできな  
かった。また、今でこそ情報セキュ  
リティの観点からなかなか許され  
ないが毎日仕

事も持ち帰っていた。急に休むこと  
になつても、家から電話やFAXで  
顧客の技術サポートをするため  
である。そうして極力職場に迷惑を  
かけず、常に「十分な働きでなく  
申し訳ない」という感謝の気持ち  
を持ち、可能な時は出来る以上の  
ことをやるという心がけで仕事  
をしてきた。

親戚縁者が近くにいないので、  
保育園・児童館を利用し、マンシ  
ョンの管理人や子供達のお母さん  
とは日頃からよくコミュニケーション  
をとる努力をした。急な迎えの時  
は代わりに行ってもらったり、PTA  
活動では、役員同士で相談をして  
土日の仕事を一手に引き受けたり  
してきた。私は子供を持って仕事  
をするのも家庭にいるのも個人の  
生き方の自由であり働くことも自  
分の我儘!くらいに思っていて、  
仕事を理由に役員を断るのは嫌  
だった。この経

不法電波は  
やめましょう!

技術と奉仕の無線機器部門  
ソフト開発と奉仕のコンピュータ機器部門  
ニーズに対応、奉仕の電話機器部門  
株式会社富士通ゼネラル通信特機特約店  
富士通テン株式会社特約店

ATIS(自動識別装置)を  
必ず取り付けましょう!

# 株式会社 山口電機

www.yamaguhi-denki.co.jp

本社 宇都宮市宮の内2丁目184番地18  
水戸支店 水戸市中河内町67番地1  
さいたま支店 さいたま市三橋1丁目815番地  
東京支店 江戸川区春江町2丁目10番3号  
千葉支店 千葉市稲毛区六方町215番地22  
高崎支店 高崎市倉賀野町5319番地1  
会津若松支店 会津若松市一箕町八幡38番地11号  
横浜支店 横浜市青葉区元石川町3719番地8

TEL(028) 655-1600(代表)・FAX(028) 653-7817  
TEL(029) 227-2205(代表)・FAX(029) 227-2237  
TEL(048) 663-4000(代表)・FAX(048) 663-4274  
TEL(03) 3698-1600(代表)・FAX(03) 3698-1699  
TEL(043) 423-3000(代表)・FAX(043) 423-3503  
TEL(027) 346-4000(代表)・FAX(027) 346-4004  
TEL(0242) 23-1700(代表)・FAX(0242) 23-1701  
TEL(045) 921-5100(代表)・FAX(045) 921-5416

代表取締役 山口雄機 (74期)

験は、コミュニケーションや時間・人員不足を考えるスキルにつながり、後年管理職での仕事の仕方にとっても役立つ（ちなみに子供の教育経験も部下の教育に役立つのだが）。

こういう経験の私でも、部門経営上、育児休暇などは痛手とを感じる。また子育てする者への手厚い制度も考えものだと思う。出張のためにベビーシッターが必要な場合はその手当てを補填する、という会社の制度には反対もした。ひいきの引き倒しではないが、同じ能力の部下がいたら、まず費用がかからない方を出張させる。つまり、子育て中の部下の仕事の機会を奪うことになるからである。だからこそ、仕事を続けながら大切な子供を育てるためには、制度に頼らず、自らの工夫で働きやすい環境を作り上げ信頼を得ていくことが今も昔も重要だと思う。

最近では、CSR（企業の社会的責任）やダイバシティ業務を通して、これらの考えの浸透が大切だとも思うようになった。そうすれば個人の努力に頼らず、社会が・・会社が・・子供を育てる」という大切な事業を成せるのである。これからは、安高や黎明の若い後輩（姪も安高生）のためにも、そういう社会や会社づくりに貢献したいと思っている。また、今回のメッセージが彼、彼女達に届くといいなと思っている。

（サイバネットシステム株式会社）

## 幕末の誇り高き マリーン・エンジニア 榎本武揚

塩谷哲夫（71期）

榎本釜次郎武揚は伊能忠敬の弟子だった父・榎本円兵衛から幼少時より地球儀で教えを受けて開明派の科学好

き少年として育ち、来航したペリー艦隊の「黒船」を動かしている蒸気機関に魅入られてしまう。そして、長崎の海軍伝習所で学んだ。そして、ついには1862年に、総勢14人の武士らとともに幕府によって派遣され、武揚はオランダ留学生となった。以来5年もの長きに渡って、武揚は内燃機関の原理から造船、操船、兵制、化学、さらには国際法まで学び、日本初の蒸気機関船「開陽丸」の建造にかかわり、オランダから喜望峰を回って日本まで運行して帰ってきた。

ところで、榎本武揚は、幕臣として、大鳥圭介や土方歳三らと薩長「官軍」との最後の戦い「函館戦争」を総督として戦い抜いた誇り高き武人であり、しかも、オランダやフランスで身に付けた開明思想を胸に抱いて、蝦夷の地に日の丸を国旗とした独立・自由の「日本共和国」を建国しようとした日本最初の共和主義者でもあった（佐々木譲、『武揚伝』（中央公論新社）に私が教えられたことを鵜呑みにしてのことですが）。この本では、武揚の活動が、函館戦争に敗れて、共和国を象徴する「ラ・マルセイーズ」の合唱を背に、五稜郭を出て官軍に捕縛されるころまでで終わっています（注）。

しかし、彼は、2年間の牢獄生活のあとで、彼の人間性・能力を高く評価した黒田清輝に助けられて、稀代の反逆者であったにもかかわらず任官し、ついには海軍中将、駐露全権大使として「樺太・千島交換条約」を締結し、伊藤博文内閣の通信大臣、農商務大臣、文部大臣、外務大臣などを歴任しています。

いろいろな武揚関係の資料を紐解いてみると、彼は、獄中でも卵の人工孵化器・焼酎製法・硫酸製造法・鍍金法などを著し、伝授し、北海道開拓使でも道内地質・鉱物資源調査、幌内炭鉱

発見、日本発の気象観測所開設などを成し遂げ、さらには政治家・大臣となっても海上法規、電気・通信関連法規などを整備、生涯“エンジニア魂”を貫いて生き抜いたことが読み取れます。やっぱり、武揚はマリーン・エンジニアを先導する星“開陽”（北斗七星の6番目の“夜明け前”を意味する星の名）だと思います。

エンジニアの『武揚伝』を手にしようと思った私のもう一つの関心は、「明治維新」を契機として、急速な近代化を成し遂げることを可能にした日本の科学技術の基盤がどのようにして築き上げられてきたのかということです。多くの若者たちが、語学に始まって科学・技術全般にわたって、熱気を持って欧米の先進文化を学んでいたことを実感として受け止めることができました。

海洋国日本の将来にとって、海洋の保全管理・開発利用が大きな課題になっていること、また、資源等の輸入と製品の輸出に国家の命運がかかっていることは言うまでもありません。ところが、マリーン・エンジニアを目指す若者が少ないと、大内博文君（注：71期で、(社)日本船舶機関士協会 元会長）が嘆いていました。このことについては、「外航日本人船員は、日本の絶滅危惧種です」（2005年全日本海員組合のチラシ）という言葉を用いておきます。“出でよ、海洋国日本のマリーン・エンジニア、平成の武揚たちよ！”と訴えて、筆をおくことにします。

（注）今、一斉を風靡している「龍馬伝」に観られるような薩長土肥の勝ち組中心の史観だけで語られがちな維新・明治を、敗者の側から書いた物語に、会津・二本松の地域に生を受けた私（大内君も）は、新たな“真実”を知ったような思いで感動してしまう。ちなみ

に、朝河貫一は二本松藩士の子として幼少時の教育を受けたサムライです。

(東京農工大学名誉教授)

※「(社)日本船舶機関士協会」の機関誌『マリン・エンジニア』への掲載記事から塩谷氏の許可を得て抜粋・要約したものである(編集部)。

## 郡山・二本松訪問記

則松久夫

(宮崎県立高鍋高校昭和34卒)

平成21年晩秋、安積記念館を訪問し、朝河博士や往年の安積健児を偲んだ。校史を物語る記念館の校舎、資料は、熊本の旧制五高の保存に匹敵するものであった。私の周囲には昭和26年安積高校卒の原信夫氏、27年卒の中路信氏がおられ、朝河貫一博士の素晴らしい業績は中路先輩から吹き込まれ、関連書籍をどっさり渡された。この郡山訪問の道中は、安積高校出身で一橋大後輩である元高校教諭の小平民生氏(40年卒)に車付きでお世話になった。郡山駅から安積高校までかなりの道のりであり、かつて私の田舎でも遠くから汽車通学する学生の中に優秀な者が多かったことを思い出した。朝河桜も拝見したが、朝河博士の英語辞書暗記と学資募金の話はテニスの清水善造に似ている。大正期、ウインブルドンおよび米国のデビスカップで決

勝まで勝ち進んだ清水善造(当時三井物産社員)も、群馬県の箕輪村から高崎中学まで毎朝10kmの山道を歩き、英語の辞書を1冊暗記したと言う。また箕輪村の村長に受験前から懇請し東京高商(現一橋大学)の学資を援助して貰った。

13時に安積記念館を辞し小平車で二本松へ向かった。小高い丘の上の朝

河貫一家のお墓に詣でた。ドナルドキーン博士が花を捧げた墓である。町を眼下に見下ろし、連山はやや雲居に隠れていたが眺めは素晴らしい丘であった。それから大隣寺に向かい、同行の徳井さんの敬慕する在家禅の山田耕雲老師の墓に詣でた。意外に簡素な禅者らしい墓であった。二本松少年隊を祀る立派な寺で若い住職の親切な案



ETERNAL PEACE 像  
(郡山市体育館敷地内)  
画：渡邊紘一(73期)

小濱 精吾 (58期)

古川 清 (63期)

株式会社 富士ハイエンジニアーズ  
一級建築士事務所

代表取締役 (管理建築士) 遠藤 修 (67期)  
(一級建築士)  
(一級建築施工管理技士)  
(一級土木施工管理技士)

〒215-0015川崎市麻生区虹ヶ丘一丁目18番6号  
☎: 044-988-7387  
FAX: 044-988-7547  
E-mail: o-endou@river.ocn.ne.jp

内を受けた。それから二本松城の天守閣跡まで登り、暮れなずむ二本松の町を見下ろした。私の郷里、日向高鍋藩の藩主の五男が当地で処刑された話に思いを馳せた。上杉鷹山公は日向高鍋藩から米沢藩に9歳で養子に出たが、その実兄・秋月種茂を4代遡る3代藩主秋月種信の5男・佐久間勝茲(かつちか)は養子で信州長沼藩主となっていた。元禄元年(1688年)、20歳のとき五代將軍徳川綱吉より側小姓を命ぜられたが病と偽り辞退。今の会社で言えば、地方の営業所長が本社の社長秘書に抜擢されるような栄達に繋がる人事であるが何か理由があったのだろう。この仮病が幕府に知られ不敬なりとして改易され、身柄は丹羽長次預かりとなり、藩は断絶の憂目を見た。元禄4年(1691年)23歳で死去。遺骸は二本松市の龍泉寺に埋葬され、墓も現存しているそうである。

翌日、小平氏と同行3人は安達太良山に登り、碧空の下、磐梯・吾妻連峰の眺望を愉しんだ。2時に郡山駅に到着。朴訥ながら配慮を惜しまぬ小平氏に別れを告げ、やまびこに乗った。尊敬して止まない朝河貫一博士に曳かれた印象深い旅であった。

## 朝河貫一顕彰協会便り

矢吹 晋 (70期)

顕彰協会の活動に関わる2通の私信を紹介する形で、昨2009年の活動を回顧しておきたい。一つは力作『朝河貫一と四人の恩師』(武田徹、佐藤博幸、梅田秀男、安西金造共著、顕彰協会刊、1050円)の刊行に際して、著者たちに宛てた感謝・激励状である。  
\*新著『朝河貫一と四人の恩師』を拝受して、たいへん驚き、感慨深く拝読しました。名前だけをかすかに聞いた程度にすぎない明治の教育者群像が一次資料に基づいて、きわめて実証的に描かれており、青年朝河貫一の思想形成、人格形成の場が手にとるように分かりました。  
\*このような新資料発掘に基づく著書は、やはり地元で丹念に調べないと書けないものです。四人の共著者の問題意識と朝河への思いが一致するという条件があって初めて成立した本ですね。顕彰協会発足5年の知的活動がここに結実したわけで、その成果を祝賀したいと思います。  
\*刊行を記念して、「四人の恩師から朝河貫一が何を学んだか」というテーマでシンポジウム(あるいは対話劇)をやるとういことです。四人の著者がそれぞれ、「朝河の恩師」役として舞台に登場し、青年朝河貫一(この役は現役の高校生にやってもらう)と対話を行う。その

ような対話劇をやったら面白いと思うのですが、いかがでしょうか。  
\*英語の学び方、外国認識、日本社会の近代化の課題、社会改革における知識人の課題といったテーマを設定し、この本から科白を抜き出して、侃々諤々やれば、とても面白いドラマになりそうです。来年の総会あたりでぜひ上演を実現したいですね(11月10日、矢吹晋)。

もう1通は、朝河貫一の『入来文書』の当主夫人、貞子さんに宛てたものである。  
\*入来院貞子様 朝河貫一顕彰協会「入来の旅」から帰り、お世話になったお礼も申しあげないうちに、メールを頂戴して恐縮の至りです。ワシモのホームページで「入来薪能・巴」の写真・解説を見て、物語の流れを改めて深く理解したところです。  
\*木曾義仲と巴御前の話は、義経と静御前の悲劇と似たところがあり、ここで頼朝は、カゲの悪役ですが、両者共に政治権力が京都から鎌倉に移る移行過程を時代的背景としており、「渋谷氏下向」の時代を知るには、恰好の素材ですね。この時代の空気がわからないと、入来院ファミリー・ヒストリーの起りが理解できない。  
\*ところでわが「入来薪能」記念訪問団は、8月28日午前、出水武家屋敷の篤姫撮影に場所を提供された竹添氏宅で、「藩政時代の薩摩」のボランティア解説を聞いたのですが、仲間の一人(高田宗彦)が「朝河貫一・入来文書」のことを質したとこ

### 安高は自分の心の拠りどころ

医療法人社団 松弘会 トワーム熊谷  
介護老人保健施設

施設長 医学博士 渡辺 哲弥 (70期)

(練馬区東大泉7-14-15)

21世紀をリードする 安積 SPIRIT!

### 浅川 章 (76期)

東京桑野会副会長

〒338-0821

さいたま市桜区山久保 2-18-3

電子メール: chobi@hyper.ocn.ne.jp

株式会社開成プランニング 代表取締役  
(<http://www.kaisei-planning.co.jp>)

### 和田 正哉 (77期)

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-2

勤務先電話: 03-3230-8001

FAX: 03-3230-8550

携帯: 090-3236-3883

e-mail: wada@kaisei-planning.co.jp

携帯mail: wada-masanori@docomo.ne.jp

自宅電話: 047-332-2287

る、解説員が何も知らないことになり、\*そこでは「薩摩示現流」の説明もありましたが、最も正統的な薩摩示現流が入来院一族の東郷家に始まることも知らない様子でした。というわけで、私としては一日も早く、『貞子の語る入来院物語』が完成することを祈念するばかりです。\*もう一つ。8月29日午前は鹿児島市内の尚古集成館を参観したのですが、そこに島津家系図が掲げてあり、忠久が「頼朝の子」であるかのごとく、「実線」で結んでありました。\*この説明図では、朝河貫一が苦勞して書き上げ、検閲を受けて伏せ字だらけの論文として発表された「島津忠久の生い立ち」はまるで無視されています。私は図書館から『史苑』（1939年7月号）を借り出し、『朝河貫一比較封建制論集』に収めました。\*その後イェール大学図書館で朝河貫一文書から朝河自身が伏せ字を起こしたテキストを発見して、『朝河貫一とその時代』第5章「島津忠久の生い立ち——伏字復元のこと」を書いて、伏字復元の経過を説明した次第です。\*帰京2週間後に、柳沼八郎弁護士の計報に接し、通夜にかけつけました。阿部善雄と柳沼八郎は旧制安積中学50期で同級でした。その縁で、朝河貫一資料保存のために両氏は奮闘されたのですが、1983年9月に阿部著『最後の日本人』が出たところから、旧顕彰協会の立ち上げをめぐる両氏は不仲にな

り、86年5月、阿部氏は急逝。柳沼氏はその後、朝河貫一研究会（早大）と、朝河貫一顕彰協会（福島県）両者の顧問弁護士として、大活躍されたことをご承知の通りです（『朝河研究会ニュース』合本の143～154ページに、阿部善雄「ある覚書」所収）。\*阿部・柳沼両氏が顕彰協会や研究会の活動ぶりを話題として、彼岸で語り合う日も間

近と思います。備忘のために一言記しました（2010年9月12日、矢吹晋）。  
（朝河貫一顕彰協会代表理事・横浜市立大学名誉教授）



郡山市郡山公会堂  
画：渡邊紘一（73期）

山縣記念財団常務理事

増子 邦雄（71期）

日本海運は若い皆様を  
待っています

大内 博文（71期）

（社）海洋会副会長・横浜支部長  
〒231-0002 横浜市中区海岸通1-1  
☎045-201-7786

石井総合事務所

司法書士・行政書士

石井 俊一（82期）

〒104-0061  
東京都中央区銀座8-8-15青柳ビル7階  
TEL: 03-3289-1411  
FAX: 03-3289-1422  
E-mail: info@e-1411.com  
http://www.e-1411.com

## 安積歴史博物館たより

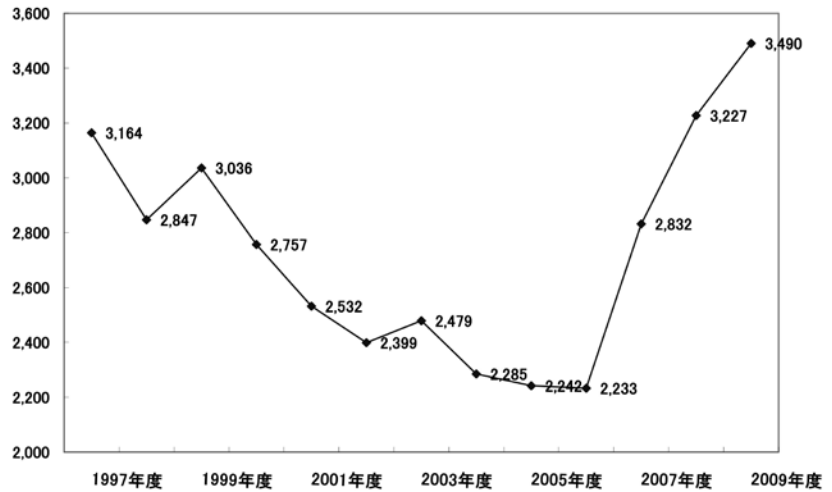
村田英男 (75期)

新しいスタッフになり私達が安積歴史博物館の運営を手伝いするようになって早いもので間もなく4年になります。それから、新しくしてきた事、これからすべき事を列記してOBの皆様にご理解頂き、上手にこの国指定重要文化財である学び舎を守って行きたいと考えます。

これまでしてきた事。

1. 現在事務局員は70期から84期までの6人が引受けています。仕事をシェアしておりますのでコストは大幅削減致しております。
2. 2009年、創立125周年にあわせ展示ギャラリーを設置、美術部OBの協力で安積桑野OB美術展を開催致しました。多人数の観客にお見え頂きました。
3. 講堂の利用により、音楽会、講演会を開催して頂きました。
4. 物置に不良在庫で眠って居た印刷物などを展示販売を始めました。プラスアルファの収入としております。
5. 過去には運営委員と言う特定の寄付だったものを「桑野会報」に振込用紙を同封する事により不特定の桑野会会員から浄財を頂くように間口を広げました。約250名、

安積歴史博物館入館者一覧



150万円。

6. 安積桑野会インターネットページの隅を借りイベントなどの告知を始めました。
7. 外注していた庭園整備、草むしりなど、外注と並行して昨年は夏季にOBのボランティア労力奉仕をお願いし、安積歴史博物館への愛着を深めて頂きました。
8. 郡山市内の小中学校、公民館に見学の誘致をしました。
9. 観光ガイドブックその他、当館の紹介記事には積極的に掲載して頂き一般客の誘致に努めました。
10. 在校生の学年集会、吹奏楽部利用など出来る限りの利用を促しました。この事は在校生に当館への愛着を深めるには非常に大切な事です。

11. 今冬、12月～2月を土日のみ開館、平日予約開館を試み、経費の削減を図りました。次年度に関しては評価検討し決めたい。

今年以降の運営は次の様な予定です。

1. ギャラリー活用の企画展は次年度卒業生の著作出版物展を考えております。その後は卒業アルバム活用により、パネル写真展等も予定します。
2. OBの皆様には昨年74期高松ゆたか氏がされました様な積極的な個展初め、音楽会、講演会等もお願いしたく存じます。
3. 博物館全体の外壁塗装。特に直射日光の当たる南側はひどく疲弊致しております。文化庁の見積では六千万円ほど掛かり、国の補助無しでは到底出来る事業では有りま

宗像 良保 (78期)

[munakata@president.co.jp](mailto:munakata@president.co.jp)

床と壁と屋根 孝和建商株式会社  
千葉市中央区汐見丘町16番12号

取締役総務部長 小林伸久 (84期)  
E-mail: [nobuhisakoba@docomo.ne.jp](mailto:nobuhisakoba@docomo.ne.jp)

☆Rie's Gospel Choir &  
Rummy's Gospel Singers  
Gospel Concert  
H23.10.24(日)16時(予定)  
南越谷・サンシティホール

☆中里たかし  
パーカッションスクール  
ライブ VOL. 4  
H23.11月(予定)  
江古田・パティ(予定)

医療・日本崩壊阻止のために応援を!

本田 宏 (86期)

埼玉県済生会栗橋病院 副院長  
NPO法人医療制度研究会 副理事長

- ・誰が日本の医療を殺すのか 医療崩壊の知られざる真実、07年9月7日 発売 洋泉社 本体定価780円
- ・医療崩壊はこうすれば防げる 08年7月7日 発売 洋泉社 本体価格760円
- ・医療崩壊のウソとホント★ 09年9月16日発売 PHP研究所 本体価格1200円

せん。現在文部科学省のゴーサイン待ちと言った状況です。

4. 前庭の樹木の手入れが悪く、枯れ枝が増加しております。積極的に剪定し樹木の勢いを取り戻したいと考えております。

現在、当館の最大の課題は公益財団法人への移行です。国の行財政改革に伴い、すべての財団法人は公益財団(税制優遇あり)、一般財団(会社などと同じ)、解散のいずれかを選択します。当然の事ながら安積歴史博物館は25年秋の締切までに公益財団を目指しております。しかしコンサルタントの世話になると数百万円掛かるとあって阿部事務局長を中心にOBの知恵を借り鋭意努力中です。この文章を読んで一肌脱ぐかと言われるOBがおられましたら是非連絡下さい。

当座の手伝いは3年程度と考えて居た私達ですが思わぬ難関が待っていて交替が遅くなりました。公益財団認可取得の責任を果たした後は速やかに愛校心、責任感あふれるスタッフに順次若返りをしたいと考えております。

○卒業生著作展に向けて、OBで書籍を出版されている方自薦、他薦で著者、書籍名、出版会社名などご連絡下さい。

○安積歴史博物館には卒業アルバムが有りません。過去をたどるには有効な手段です。

お父様の遺品などに安積中、安積高の

アルバムなど有りましたら是非、寄贈下さい。(安積歴史博物館、紅葉館きらくや)

※安積歴史博物館の入場者数の推移を示したデータ図をいただきましたが、これによると増加傾向とのことです(編集部)

## 東京桑野会の総会に参加して

宗像 淳 (107期)

昨年6月1日に東京桑野会総会に初めて参加しました。会場は大変な賑わいでした。多くの先輩方とお会いしてお話する事も出来ました。大変素晴らしい会でした。改めて安積高校の歴史の重みを再認識し、私も積極的に参加し、盛り上げて行きたいと思いました。ただ、少し気になったのは、私と同年代の参加者が少なかった事です。こんなに素晴らしい会なのにもったいない、もっと私の同年代が参加すればさらに盛り上がるのではないかと、そんな思いで、初参加にもかかわらず107期の幹事を引き受けさせて頂く事になりました。さて、桑野会に同年代の参加者を増やすためにはどうしたらいいかと、私なりに知恵を絞った結果、以下の2つの提案をしたいと思います。

【案1】 メーリングリスト立上げ  
桑野会メンバー同士で情報交換が出

来る仕組みとして、メーリング・リストを立上げてはどうかと思います。今流行りのソーシャル・ネットワークサービスのFacebookを使うのも良いかもしれませんが、使われた事のある方はおわかりになるかと思いますが、どちらもインターネットを利用した、大変便利な情報共有の仕組みです。(注:これは任意参加の情報交換スペースです、今までの手紙やはがきでの連絡は引き続き必要だと思います)



旧福島尋常中学校本館(側面より)  
画:渡邊紘一(73期)

4月 プカレスト交流展 ルーマニア(グループ)  
5月 高松ゆたか絵画展 岩手、滝沢村(個展)  
8月 岩手美術会展 盛岡市民文化ホール(グループ)  
10月 高松ゆたか絵画展  
青森、五拾壹番館ギャラリー(個展)  
(ギャラリーたかまつのホームページをごらんください)

高松 ゆたか (74期)

ギャラリー・  
絵画教室 **たかまつ**  
(<http://www.gallery-takamatsu.com>)

ごうや  
山田・合谷・鈴木法律事務所

弁護士 鈴木 修一 (89期)

〒100-0012  
東京都千代田区日比谷公園1番3号  
市政会館1階115号室  
TEL 03-3501-0451  
FAX 03-3501-0452

堂野法律事務所  
(<http://www.dohno-law.com/>)

弁護士 後藤 大 (107期)

〒104-0061  
東京都中央区銀座4-10-16  
シグマ銀座ファーストビル2階  
TEL :03-3542-9031  
FAX :03-3542-9030  
E-mails to: [d-gotoh@dohno-law.com](mailto:d-gotoh@dohno-law.com)

【案2】 桑野会主催の若手向け勉強会を開催する

今回、多くの先輩方にお会いする事が出来たので、このような先輩方を招待して、20代、30代を中心として、小規模な勉強会を開くのはどうだろうかと思います。旧帝大で組織されている同窓生組織である学士会は、このような取り組みをやって成果を上げているようです。

この提案の背景は下記の通りです。ここ数年終身雇用型の労働環境が崩れ、若年層での転職が非常に増えております。私自身、2度転職を経験しております。私は、2004年から2年間米国にMBA留学したのですが、大学や大学院のネットワークが、彼らの転職活動、仕事探しにおいて大変重要な役割を果たしている事を改めて認識しました。同窓会のネットワークは、転職以外でも活用されています。実は、先日商談でシリコンバレーの企業を訪問したのですが、これまで取引のない会社にコンタクトを取る必要がありました。もしやと思い、インターネットで調べると、この訪問先のCEOがかつて留学したペンシルバニア大学の大学院の先輩である事が判明、無事商談に繋げる事が出来たという経験があります。このような経験を通じて、桑野会でも、同じような機能を持つ事が出来るのではないかと思った次第です。もちろん、桑野会はそんな場ではないと

いうご意見を有ろうかとは思いますが、私なりに、若年層がもっと桑野会に参加するための知恵を絞った次第です。ご意見を頂ければと思います。

(株式会社 ネクストパス)

## ホームページの 運用状況報告

—創設8年目の活動と  
アクセス状況—

<http://www.tokyo-kuwano.com/>

芳賀雅美 (86期)  
(東京桑野会ホームページ委員長)

早いもので当会ホームページがグランドオープンしてから8年が経過した。平成18年3月に大幅な頁の改廃を実施しリニューアルしてから数えても、5年が経過したことになる。情報化技術はこの間にも飛躍的に向上し、今やインターネットの世界なしには人間は生活できなくなってしまった。当会ホームページ委員会も若返りを図り、新規技術の習得と応用展開を実行したいと常々考えているが、私の力不足により未達であり心苦しい限りである。われはと思う自薦を願いたい。

本題の当会ホームページ運営活動であるが、毎年の会報での年間活動報告は、回を重ねて8回目となった。創設3ヶ月目のごく初期のサーバーダウン事故以降、幸いにも大きなトラブルは

なく、平成22年度も平穩無事に運用でき9年目に突入した。ご利用いただいた会員の皆様に、深く感謝を申し上げる次第。

この8年目については、追加記事の掲載やイベント紹介頁の作成など小改訂にとどまった。見た目にはあまり進歩がなく、コンテンツ提供の貧弱さは否めない。お恥ずかしい活動であり、会員の皆様には平に陳謝したい。しかしながら毎年増加するサーバーテロまがいの不正アクセスを撃退すべく、監視強化とセキュリティー強化には気を遣った。見かけには判らないが、裏での活動には、努力の跡があったのである。攻撃に耐えるサイトの運営には、プロバイダともども苦心している。

特に昨年の尖閣諸島・中国漁船事件以来、当会ホームページにおいても日本攻撃のながれの一部と思われる不正アクセスが観測されている。悪意を持ってネット技術を利用していることに、呆れると共に強い憤りを感じるのは私だけだろうか。

数少ないながら追加・改訂した頁について紹介しておく。まずは忘れてはいけな、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」紹介頁である。第1部は一昨年の12月に放送された。この「坂の上の雲」紹介頁を第2部放送に向けてリニューアルした。昨年末12月放送の第2部では正岡子規が逝き、秋山真之の親友瀬武夫が戦死。日露

株式会社 櫻井淳計画工房

代表取締役 一級建築士

櫻井 淳 (78期)

〒231-0007

横浜市中区弁天通6-85宇徳ビル403

TEL: 045-663-9271

FAX: 045-663-9273

E-mail: spajun@bk.ijj4u.or.jp

Web Site: <http://www.j-sakurai.jp/>

弁護士 齊藤 英彦 (69期)

〒160-0022

東京都新宿区新宿1丁目3番8号

YKB 新宿御苑 804号室

電話 (03)3356-6677 番

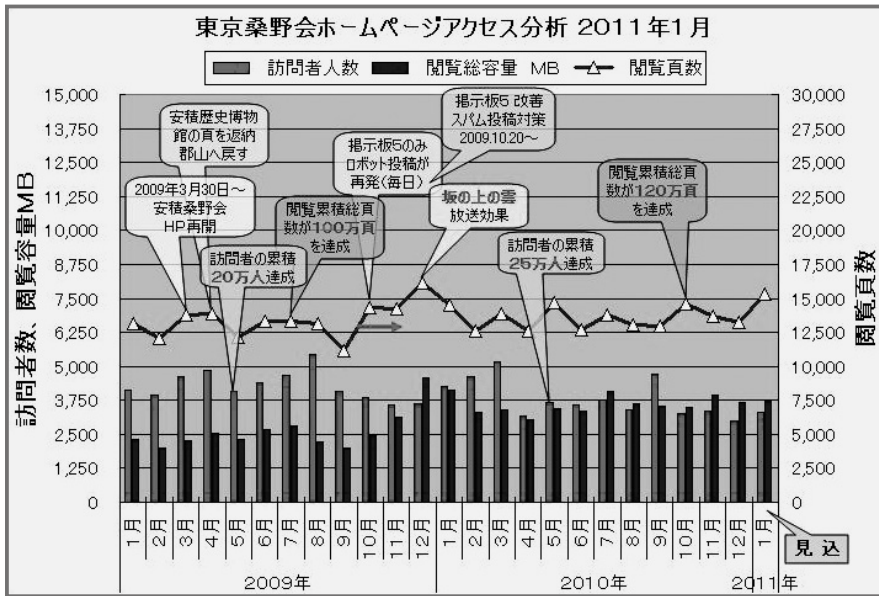
FAX (03)3356-6678 番

## 協賛広告のお願い

東京桑野会会報は、三千数百部を発行し、母校・安積高校や福島県立図書館などにも納入されております。“安積卒業生の心意気”を協賛広告で示してみませんか。

お問い合わせは事務局まで。





東京桑野会ホームページへのアクセス状況

開戦勃発でいよいよドラマは佳境に入った。第3部は本年12月に放送の予定である。母校でのロケはもうないが、皆さん応援をよろしく願っています。ちなみに、「あらすじ」も改訂しているのでご一読願いたい。

さらに、ご存知芥川賞作家の玄侑宗久氏(88期)原作である「アブラカサスの祭」の映画化を紹介した頁、「朝河貫一と四人の恩師」の刊行(顕彰協会)を紹介する頁の作成を実施した。映画はコメディータッチであるが、僧侶の煩惱を生きる様に表現している。スネオヘアー／ともさかりえの夫婦役が現実ゴシップと重なって、こちらも見ものだろう。

また会員ブログを2件追加した。「スクールカラー『紫』考」と、「横須賀・戦艦三笠公園訪問記」である。

その他特筆すべきは、ロボット検索によるスパム投稿が、この1年余り皆無になったことである。しかし油断大敵、相手もいつ進化してくるか戦々恐々としている。

さて、ここで当会ホームページへのアクセス状況について報告しよう。この原稿を書いている1月までの経過を過去2年間分のグラフで示しておく(別掲の図を参照:今年1月は見込みの数値)。昨年5月には累積訪問者数が25万人を突破し、さらに10月にはべ閲覧頁数120万頁を達成した。こ

の1年間の平均で、月に訪問者3850人、閲覧頁13500頁で推移しており、訪問者数で前年比10%減、閲覧頁数で前年並みであった。アクセス減の主な原因は、昨年度に人気のあった「坂の上の雲・紹介頁」の閲覧数が、安積高校ロケがあった昨年度ほど盛り上がりず低迷したためであり、少し残念な結果になった。放送のあった12月での本紹介頁アクセス数は、昨年同月比の1/3以下で、安高OBの興味が激減したのだろうか。

平成18年3月に個人的には言え私が目標として掲げた、「1ヶ月あたりで訪問者数5千人/閲覧頁数5万頁以上のアクセス達成」にはまだまだ足りていない。会員の皆様のご協力を賜りたく、切に望んでいる。もうひとつ、当会ホームページに掲載するバナー広告のご協力についても、この場を借りてお願いしたい。事務局への連絡、またはホームページの「協賛バナー広告募集頁」をご覧ください。

最後に毎年の決まり文句ではあるが、今後とも会員の皆様のご期待に沿えるよう、充実したページ作りに励みたいと考えている。乞うご期待。

(出光興産(株)電子材料部)

## 会費納入のお願い

東京桑野会の活動は、会員の皆様の会費によって支えられています。会報の作成・送付も会費によって賄われています。現在、会報を送付している会員からの会費納入の達成率が低迷し、東京桑野会の財務が逼迫しつつあります。東京桑野会の健全な財務状態を維持するためにも会費納入をお願いいたします。(東京桑野会は安積桑野会とは別会計となっておりますことご承知ください)

# 東京桑野会役員名簿 平成 23 年 4 月 1 日現在

## □役員

役 職	氏 名	期	勤務先・自宅住所	電 話
会 長	古川 清	63		
副会長	大津 隆	63		
副会長兼 幹事長	斉藤 英彦	69		
副会長	増子 邦雄	71		
副会長	高松 豊	74		
副会長	浅川 章	76		
副会長	和田 正哉	77		
副会長	櫻井 淳	78		
副会長	上石 利男	80		
副会長	渡邊龍一郎	81		
副幹事長	椎野 靖啓	78		
副幹事長	宗像 良保	78		
副幹事長	丹治 則男	81		
副幹事長	小林 伸久	84		
副幹事長	村上 昌弘	85		
副幹事長	坂本 浩一	86		
副幹事長	芳賀 雅美	86		
副幹事長	渡辺 政信	88		
副幹事長	大矢 真弘	88		
副幹事長	鈴木 修一	89		
副幹事長	渡部 良朋	91		
会計監査	大内 博文	71		
会計監査	関根 健治	73		

役 職	氏 名	期	勤務先・自宅住所	電 話
顧 問	高瀬 禮二	46		
顧 問	竹花 則栄	55		
顧 問	小浜 精吾	58		

## □幹事

役 職	氏 名	期	勤務先・自宅住所	電 話
幹 事	佐久間盛政	54		
幹 事	石川 衛三	57		
幹 事	池田 和男	58		
幹 事	小針 久	59/ 60		
幹 事	佐藤 啓	61/ 62		
幹 事	村山 俊司	61/ 62		
幹 事	鶴沼 直雄	63		
幹 事	谷本 滋朗	63		
幹 事	渡部 喬一	64		
幹 事	本田 保夫	64		
幹 事	佐藤 司	64		
幹 事	伊藤 巖	65		
幹 事	清治 和昭	66		
幹 事	橋本大三郎	66		
幹 事	横尾 稔	66		
幹 事	遠藤 修	67		
幹 事	青山 掌三	68		
幹 事	有我 政彦	68		
幹 事	清治 武光	68		
幹 事	佐藤 廣	69		
幹 事	近内 靖夫	69		

役職	氏名	期	勤務先・自宅住所	電話
幹事	石井 敬治	70		
幹事	矢吹 晋	70		
幹事	渡辺 哲弥	70		
幹事	武藤 勇司	71		
幹事	大和田允彦	71		
幹事	遠藤征志郎	72		
幹事	遠藤 宏司	72		
幹事	武藤 一駿	74		
幹事	伊豆 秀雄	74		
幹事	今川 直人	75		
幹事	柳田 力	75		
幹事	満井 和正	76		
幹事	草野 幸次	77		
幹事	大竹 英雄	79		
幹事	山元 紀美	79		
幹事	安部 直文	80		
幹事	斎藤 誠	81		
幹事	石井 俊一	82		
幹事	古川 清志	82		
幹事	永山 幸男	82		
幹事	渡辺真佐夫	84		
幹事	境 君夫	85		
幹事	本田 宏	86		
幹事	坂路 誠	87		
幹事	富塚 弘之	87		

役職	氏名	期	勤務先・自宅住所	電話
幹事	有我 明則	90		
幹事	秋山 茂雄	91		
幹事	田原 美郷	91		
幹事	増子 浩重	92		
幹事	斎藤 宏海	93		
幹事	鎌田 光明	94		
幹事	藤田 健彦	96		
幹事	佐藤 厚	97		
幹事	小野崎 敦	97		
幹事	宗像 孝	98		
幹事	御代田邦英	100		
幹事	葛西 正輝	102		
幹事	小林 弘典	103		
幹事	佐藤 正典	103		
幹事	土田 隆弘	105		
幹事	加藤 祐一	105		
幹事	柳田 良幸	106		
幹事	後藤 大	107		
幹事	宗像 淳	107		
幹事	藤原 伸浩	111		
幹事	中館 透	113		
幹事	星 瑞穂	117		
幹事	橋本 琢朗	121		

## 編集後記

○【挿絵のこと】今号の挿絵は、73期渡邊紘一さんにお願ひしました。事の次第は、母校「安積歴史博物館」での創立125周年記念OB美術展での出会いでした。会議の席上、私の左隣におられ、確証もないままに、二言三言在学中の水田美術教室のこと等、話かけましたところ「やっぱり、あの時の…」お名前や御顔立ちも、少しずつ身近になってきて、在りし日のデッサンの実習風景がよみがえってきたものです。

渡邊紘一さんは、昭和40年福大・学芸学部卒、図工教育に取り組みながら、郡山管内小学校長をお勤めになられました。現在は、県南美術家連盟～郡山市美術家連盟に加入しています。目下、「え・こーる会」で、絵画活動を展開しています。

お便りによりますと、2月一杯、インドシナ半島の国々を「一人旅」されるとのこと。10年前に亡くされた御父上様が、日本兵として人生をかけた戦地を、私も足腰の達者なうちに踏みしめておきたい、とのことでした。後輩の私にも、「元気なうちに思い立ったことを…」と、身にしみる一言を頂きました。

渡邊紘一先輩、気をつけて。スケッチ、お待ちしています。(高松ゆたか)

○合唱部のOBとして凄いことを後輩達はやってくれたと驚いています。本当におめでとう。私の頃は、男性合唱でそれなりに楽しくやっていたのですが、金賞受賞の曲名を知って、相当のレベルだろうと思いました。同期の菊池臣一学長には、腰痛持ちの私にも、心理的効用考察の話は大変参考になったし、合唱部金賞の知らせで、腰痛は無くなりました。(櫻井淳)

○昨年はNHKで「龍馬伝」や「坂の

上の雲」を放映したため、四国ブームだった。7月に家内にせがまれ2泊3日のツアーに参加し、ブームにあやかり、金刀比羅宮・松山・足摺・高知などを久々に訪問した。思い起こせば初めて四国の地を踏んだのは、安積高校在学2年生の3月だった。終業式の次の日に原付バイクにまたがり郡山を出発して4日目の朝、淡路島を經由して鳴門フェリーで徳島に渡ったときである。40年も前の事だ。

しかしこの時には、四国上陸の初日に金刀比羅宮参詣の直後、左折してきたトラックに巻き込まれ原付バイクが大破し旅は終わった。翌年の大学1年生の夏休みに、リベンジとばかり友人達と3人で車による再チャレンジをしたが、これも四国に渡った初日に高知駅前で接触事故。フェンダーを凹ましたまま、四国を一周した。以来四国は私の鬼門となった。

今回は羽田から空路で徳島に入り、ツアーバスで金刀比羅宮へ。40年前に計画していたコースで松山・道後温泉泊。翌日は宇和島、佐田の沈下橋経由で足摺温泉泊。3日目に高知入りして龍馬に会い、四国を満喫した。自分で運転しなかったせいか、無事に旅を終えた。ほぼ半世紀に亘って果たせなかったリベンジを果たし、私のトラウマは消えたのだ。(がっちゃん)

○昨年の会報(No.32)の編集後記で、広島の国泰寺高校の第一応援歌「紫の旗」について書いた。安積の「紫の旗ゆくとところ」に酷似している。気になって仕方がなかった。そんな時、広島への出張が(ラッキー!)。出張先が、国泰寺高校のすぐ近く。会合への参加者のお一人と、夜、お酒を飲みながら話をしていたら、なんと国泰寺高校のご出身だった。そこで応援歌談義へ。残念ながら、「紫の旗」のメロディーは似ている模様だが、先方はあまり覚えていなかったのも、いまだ詳細不明、残念……。ちなみに国泰寺高校は

サッカーの超名門校で、かつ、野球でも1915年の夏の甲子園第1回大会(当時全国中等学校優勝野球大会)の開幕第一試合を鳥取中学と戦った。う〜む……(黙り込む)。(GF91)

## 事務局便り

【事務局からのお願い】会報の発送は、会員各位の住所動向に大きく左右されます。住所が変わっていると、折角の会報も戻ってきてしまいますので、住所変更の際は東京桑野会の事務局まで、ご連絡下さいますようお願い申し上げます(東京桑野会ホームページにも、連絡先を表示しております)。安積桑野会の方にご連絡された方も、ご面倒でも東京桑野会の方にもご連絡下さい。

【ゴルフ同好会】平成22年度懇親ゴルフ会は7月21日(火)、「よみうりゴルフ倶楽部」にて開催されました。猛暑の中でのプレーとなりましたが、この「暑さ馴れ」で、その後の数日間の極暑をしのげた、との声もありました。平成23年も7月に開催予定です。詳しくは事務局またはゴルフ同好会幹事までご照会下さい。

(ゴルフ同好会幹事 大内博文(71期) ohuchi@extra.ocn.ne.jp TEL044-955-4726)

---

---

### 『東京桑野会会報』No.33

2011年4月1日発行

発行・編集人●古川 清

発行所●東京桑野会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-8

YKB新宿御苑804

斉藤法律事務所気付

Tel03-3356-6677 Fax03-3356-6678

E-mail info@tokyo-kuwano.com

URL <http://www.tokyo-kuwano.com/>

製 作●株式会社キタジマ

〒130-0023 東京都墨田区立川2-11-7

Tel03-3635-4510 Fax03-3635-4515

---

---